

SNEL CYCLOCROSS TEAM #01 NEWS



CYCLOCROSS SEASON IS IN FULL SWING!

FABtroni+camera

2016-17年シーズンのSNEL CYCLOCROSS TEAMは、エリート男子（カテゴリー1）は昨年に引き続き中村龍太郎、向山浩司。そして2年ぶりにシクロクロスに復帰し、カテゴリー2から早々昇格を決めた藤田拓海が加入。エリート女子は林口幸恵、カテゴリー3に小島大輝という5名体制で始まった。

10月の茨城シクロクロス小貝川ステージから積極的JCXシリーズに参戦。エリート男子はここまで中村が一番の結果を出している。序盤に調子があわなかった向山だが徐々に

に復調の兆し。昇格したばかりの藤田もトップカテゴリーの中でも引けを取らない走りを見せている。

エリート女子林口はレースごとに良い走りになってきておりUCIポイントも着実に獲得した。

年齢制限でカテゴリー3から昇格することのない小島だが、主催者の配慮で条件付きで上のカテゴリーと混走するなど、その実力が認めらる存在となっている。

12月11日（日）宇都宮にて全日本選手権が行なわれる。各選手調子は上向き。爆発してくれることを期待したい。

野辺山デイズ スタッフの お仕事

Rapha Super Cross NOBEYAMA
2016,11,26-27 at 野辺山滝沢牧場

SNEL CYCLOCROSS TEAM のメンバーは東京、新潟、栃木、千葉など、それぞれ在住場所が散らばっているため、ほぼレース会場のみで顔を合わせることになる。それはスタッフも同様であるが、レースになれば一丸となって選手のサポートに全力を尽くす。スーパークロス野辺山はチームフルメンバーが出走。二日間にわたる UCI レースのコースコンディションは野辺山の寒さに加え、積雪、泥、雨と選手にとってもスタッフにとっても過酷なものとなった。



1 日目は積雪が残るものの天候には恵まれた



メカニックも兼ねる諏訪監督



バイク交換もいつもより頻繁に



良い走りをした後はこの笑顔である



スタート前の選手のケア



雪だけで選手もマシンも泥パック



トップカテゴリーのピットは時に戦場となる



最後まで雨は止まず。雨の中の撤収作業

サプライヤー紹介

機材編



ESTVTE

サドル
SKYLINE VT TACA FLUO



シートポスト、ステー、ハンドル
を使用

MERIDA

CYCLOCROSS 9000
カンチブレーキ仕様

SHAKES

SHAKES HOOD は
チームカスタムカラー

Magic

シリコンバーテープ
SILIC1 BARTAPE
グリーンとブラックを使用



チェーン
X11L TI-GOLD



チェーンキャッチャーを使用

Vittoria

ホイールは QURANO 46C
タイヤはコンディションにより
数種類使い分ける

酢飯いらす。いつものおかずで
手まきごはん

SNEL
BIKESHOP-SNEL.COM

板橋電気⚡事(株)

NESK-ART

ATHLETUNE

MORGAN BLUE

ErgoGrip

ARUNDEL

rh+

SAHON

SAUCE
vedi italiano

BIO RACER

NAOI

CATEYE





中村 龍太郎
Ryutaro Nakamura



向山 浩司
Koji Mukoyama



藤田 拓海
Takumi Fujita



林口 幸恵
Yukie Hayashiguchi



小島 大輝
Daiki Kojima

監督／代表

諏訪 孝浩
Takahiro Suwa

スタッフ

小島 哲也
Tetsuya Kojima

小川 勇
Isamu Ogawa

林口 寛之
Hiroyuki Hayashiguchi

フォトグラファー

酒井 健作
Kensaku Sakai

FABtroni+camera